

2011年3月期
第2四半期 決算説明会

2010年11月8日

株式会社ジェイテクト

1. 2010年度 第2四半期業績

2. 2010年度 業績予想

3. グローバル事業戦略

1-1) 財務データ①

3

JTEKT
(億円)

	2009年度 第2四半期	2010年度 第2四半期	対前年 同期比	2009年度
売上高	3,398	4,670	137.4%	7,696
営業利益	△ 142	168	—	4
経常利益	△ 145	165	—	△ 2
四半期(当期)純利益	△ 165	89	—	△ 194

1-2) 財務データ②

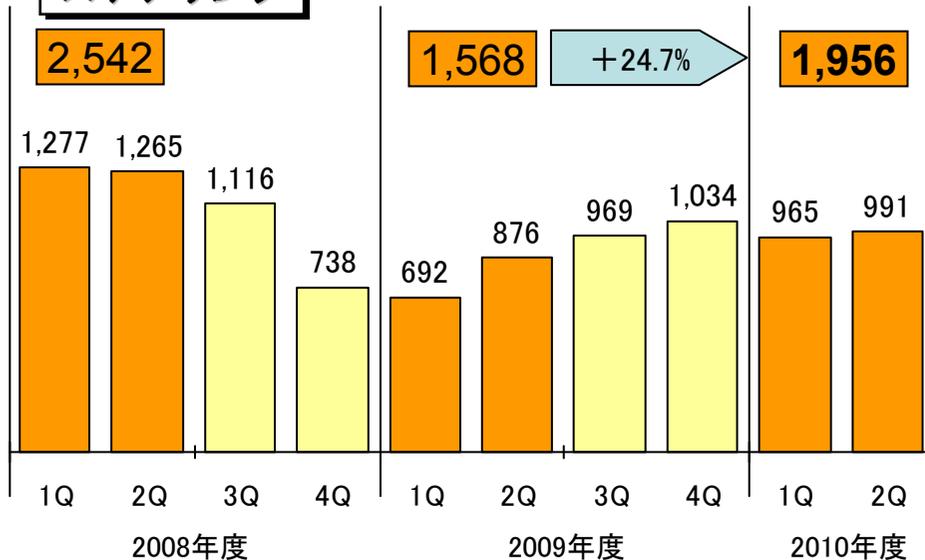
	2009年度 第2四半期	2010年度 第2四半期	対前年 同期比 (対前期比)	2009年度
棚卸資産	1,194	1,164	(93.6%)	1,244
有利子負債	2,555	2,078	(87.6%)	2,373
設備投資額	148	105	70.9%	252
減価償却費	244	239	98.0%	500

1-3) 製品別売上高

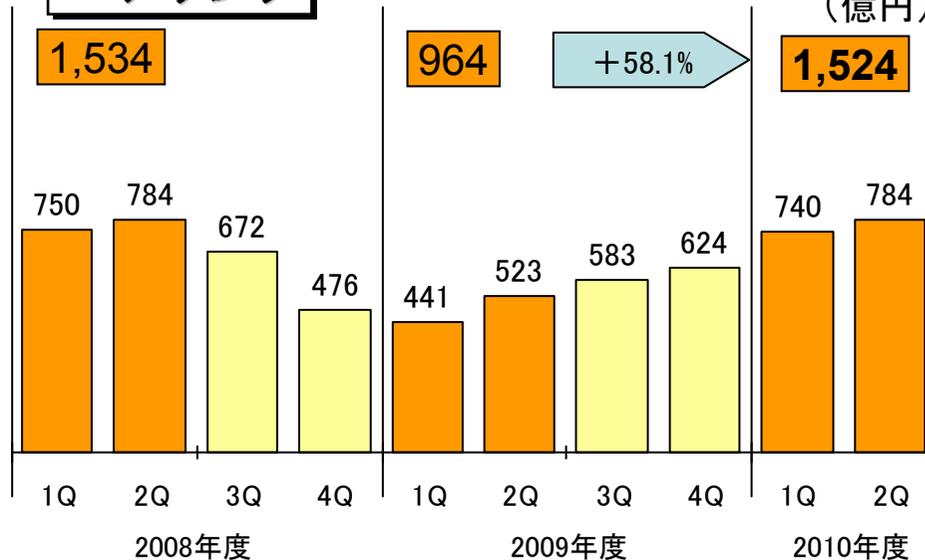


(億円)

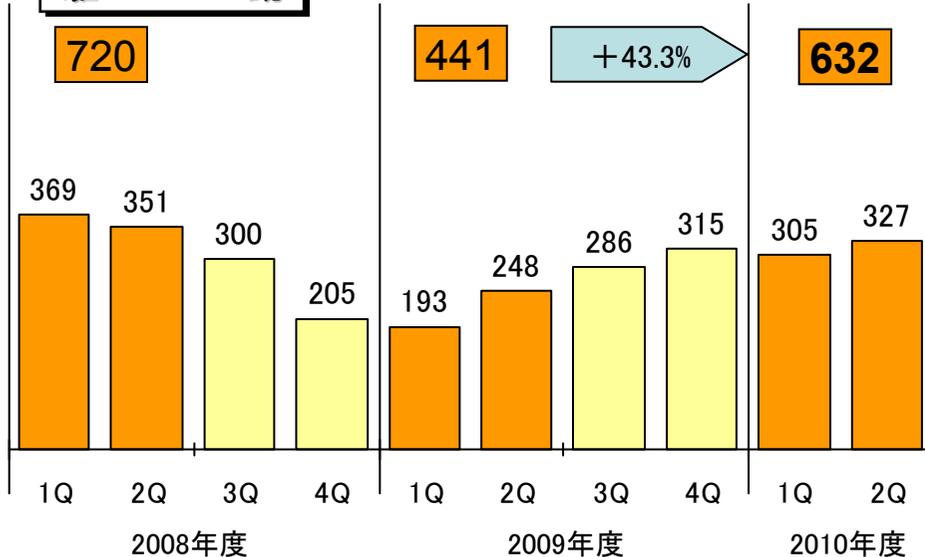
ステアリング



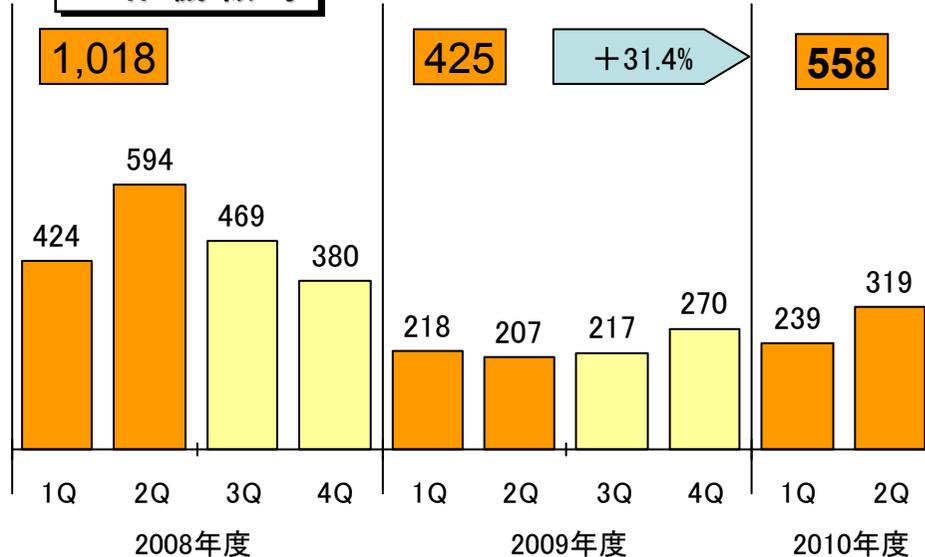
ベアリング



駆 動



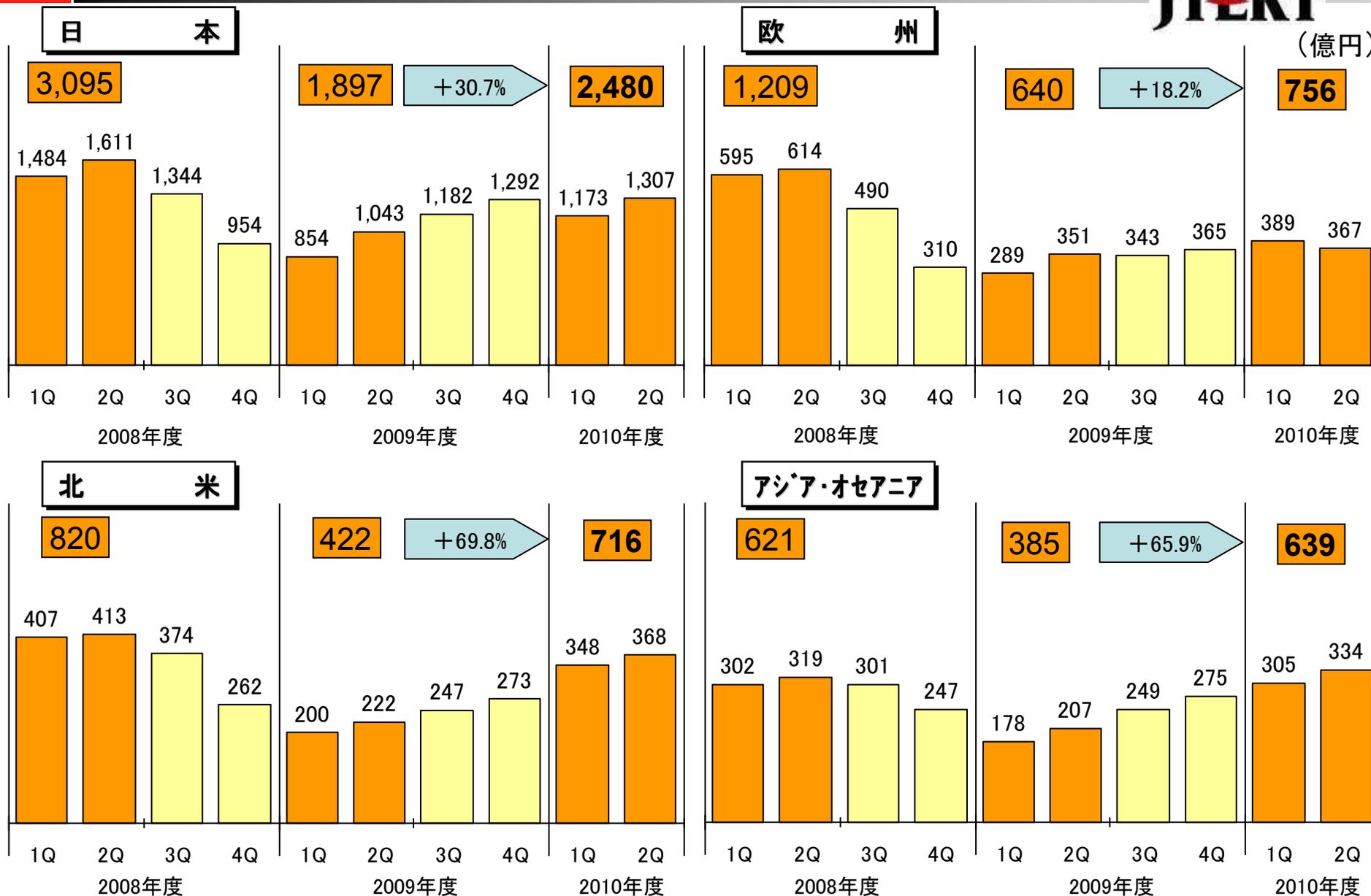
工作機械等



1-4) 地域別売上高



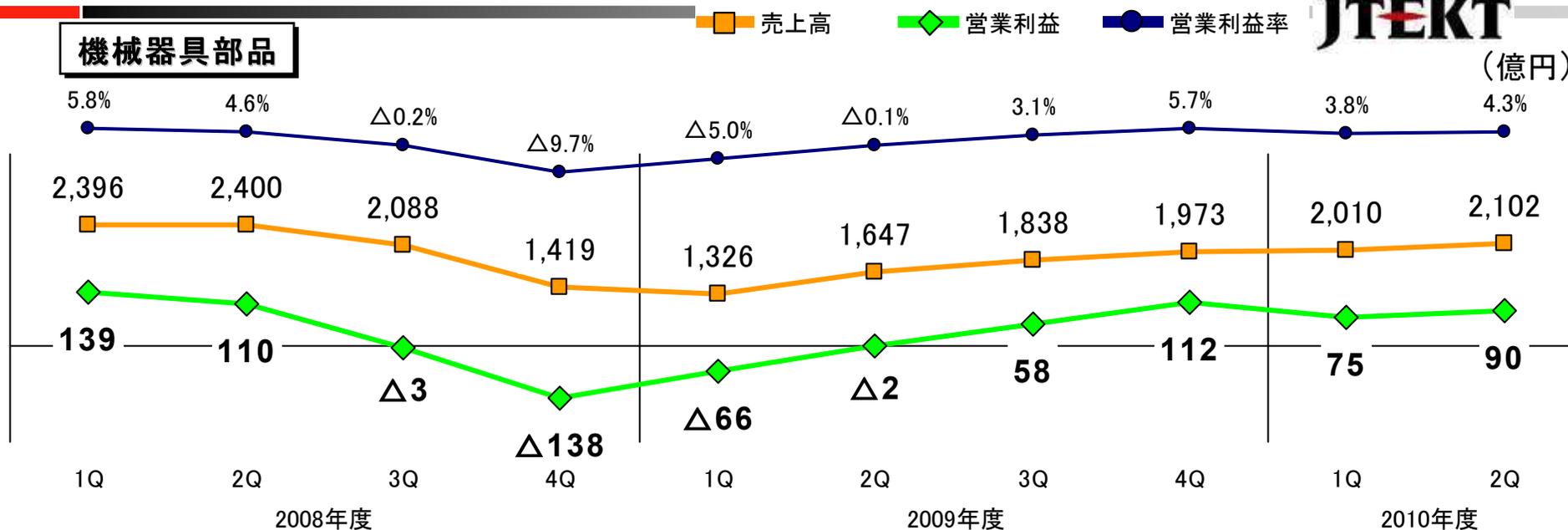
(億円)



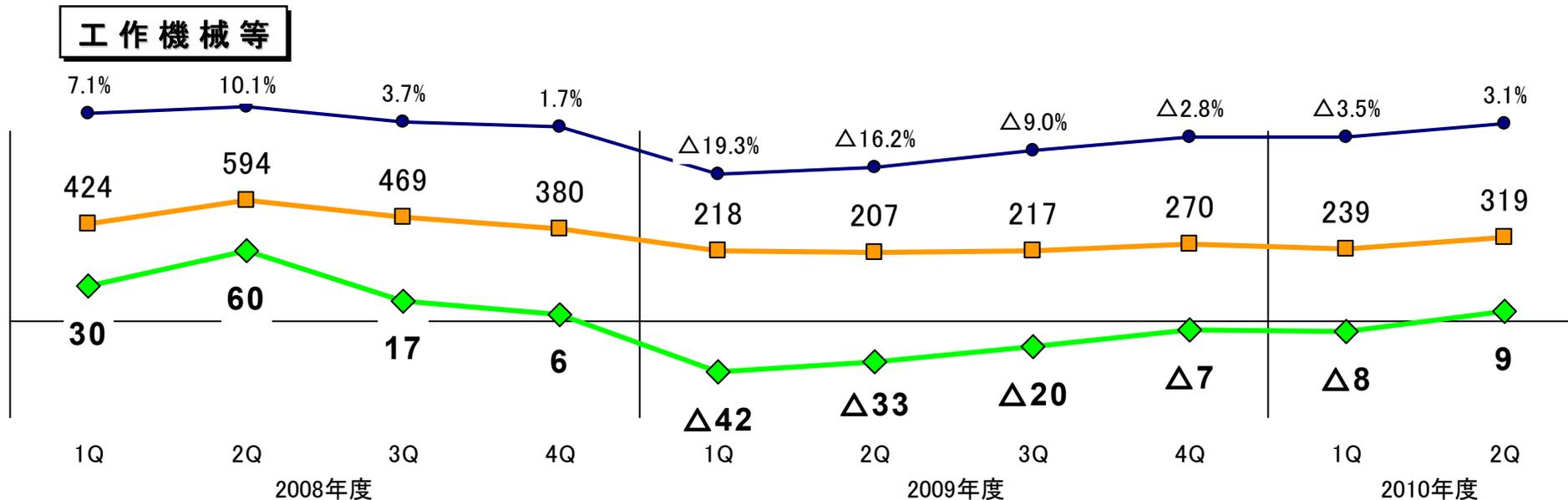
1-5) 事業別営業利益



機械器具部品



工作機械等



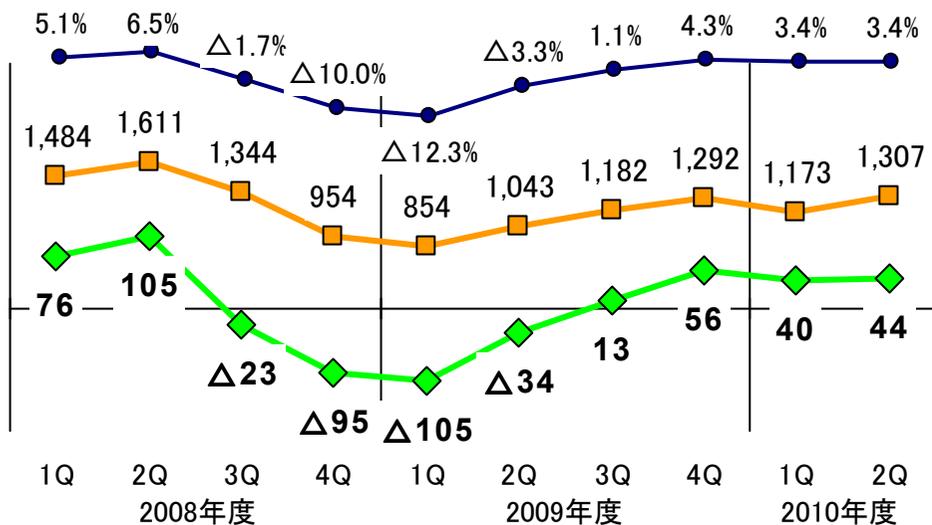
1-6) 地域別営業利益

■ 売上高 ◆ 営業利益 ● 営業利益率

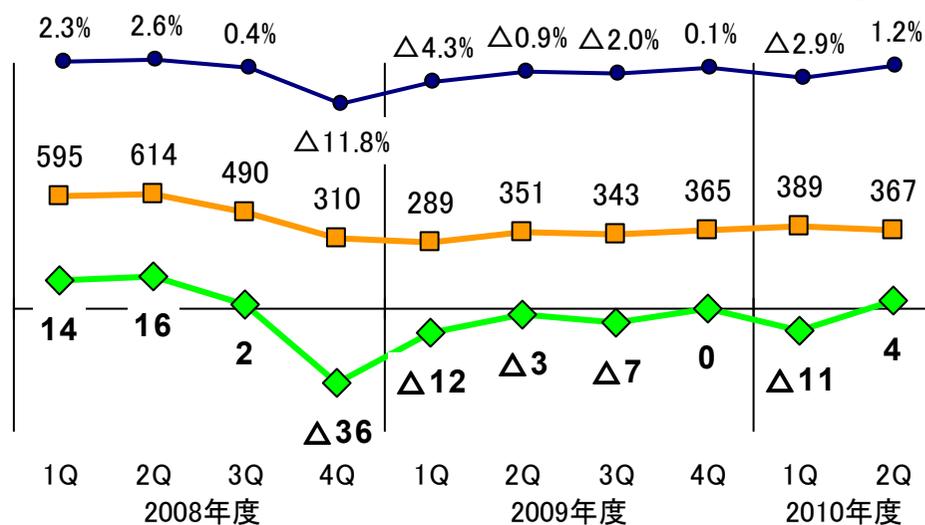


(億円)

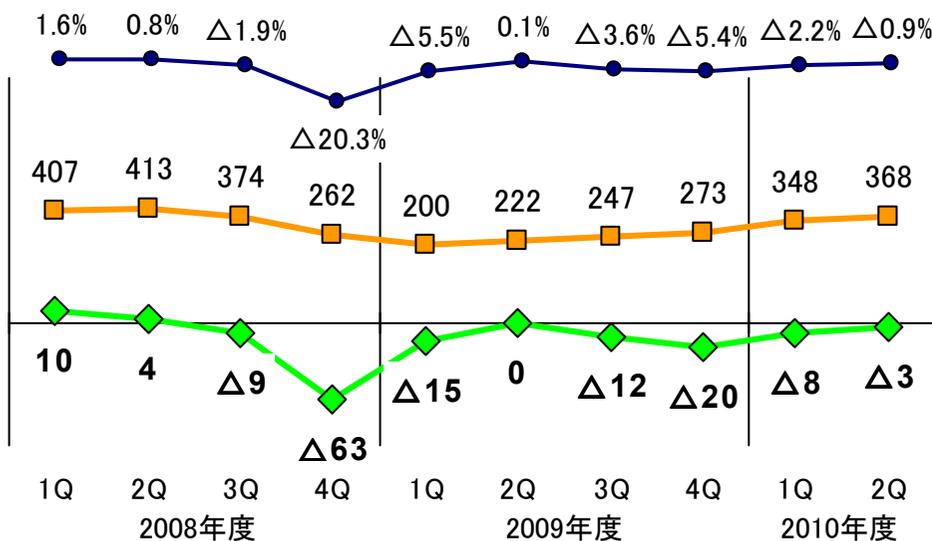
日本



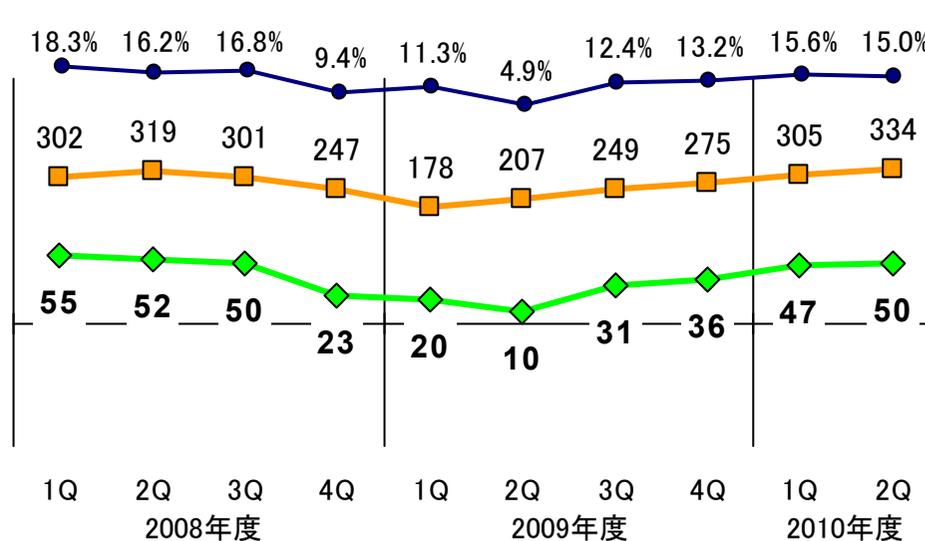
欧州



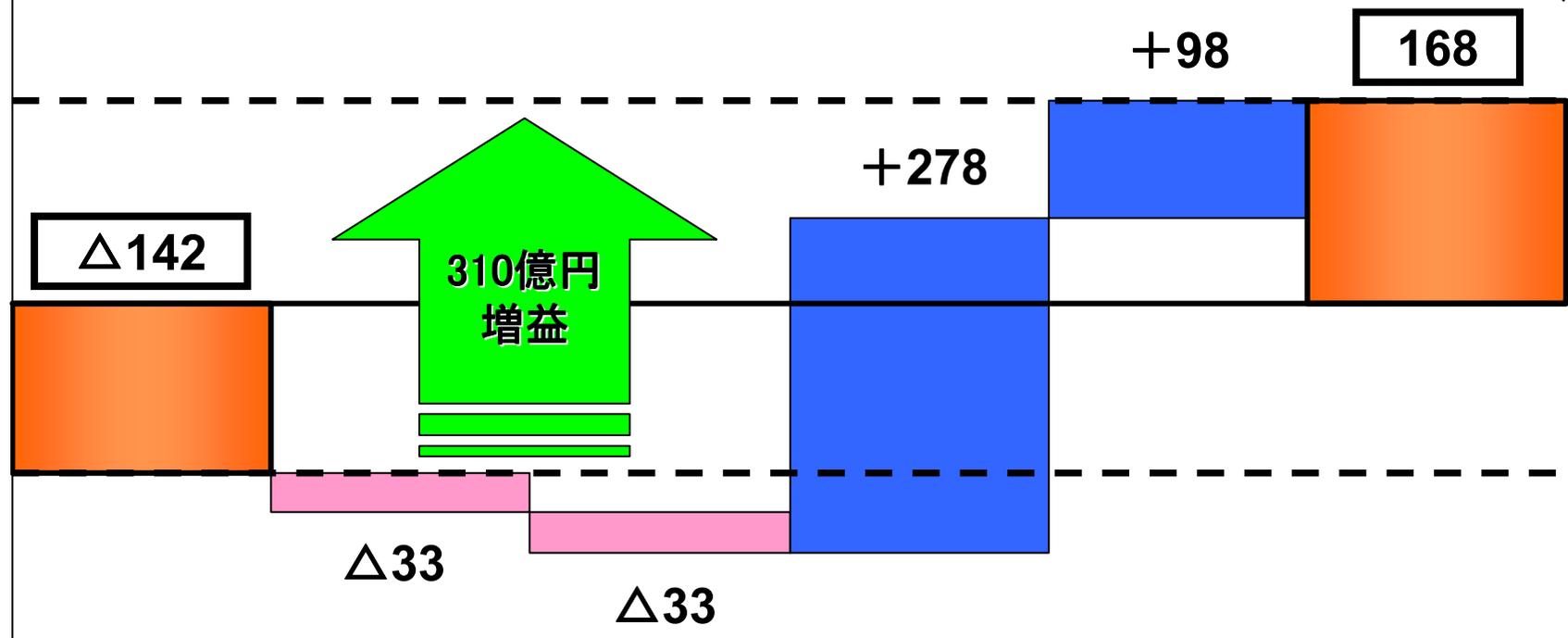
北米



アジア・オセアニア



1-7) 営業利益増減分析

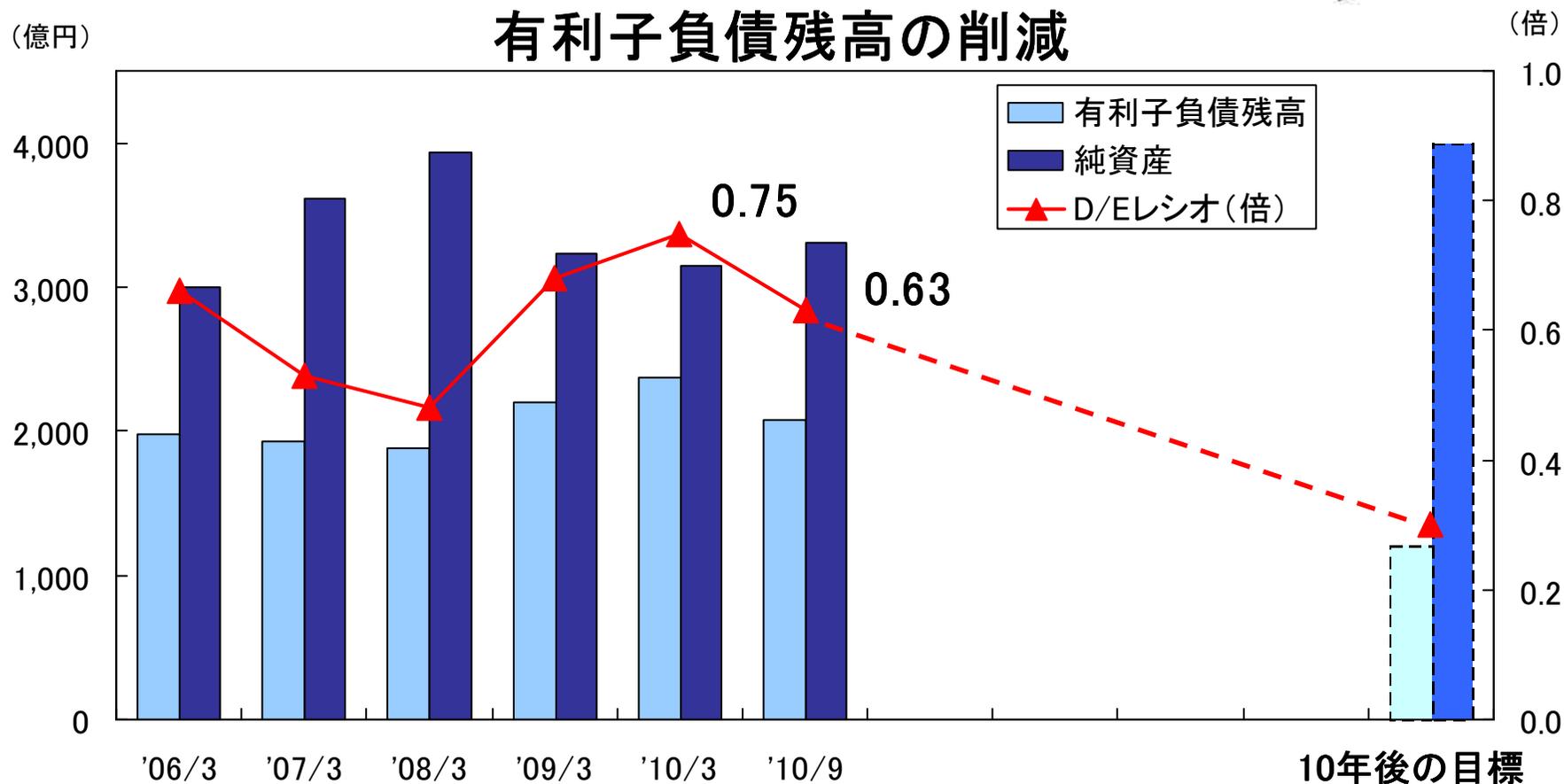


2009年度
第2四半期

2010年度
第2四半期

為	売価水準ダウン	売上高増による	原価改善等
替		利益増	

1-8) 財務体質の強化



'10年9月末の状況:

- ・有利子負債残高 2,078億円('10年3月末比 △295億円 公募増資174億円+他C/F150億円)
- ・D/Eレシオ(注①) 0.63倍('10年3月比 △0.12倍)

(★軸受同業他社 約1.07倍~1.09倍 注②)

注①D/Eレシオ(倍)=有利子負債/純資産 この値が小さいほど財務健全性が高い。
 注②同業他社数字については、公表されている数字より当社で算出。

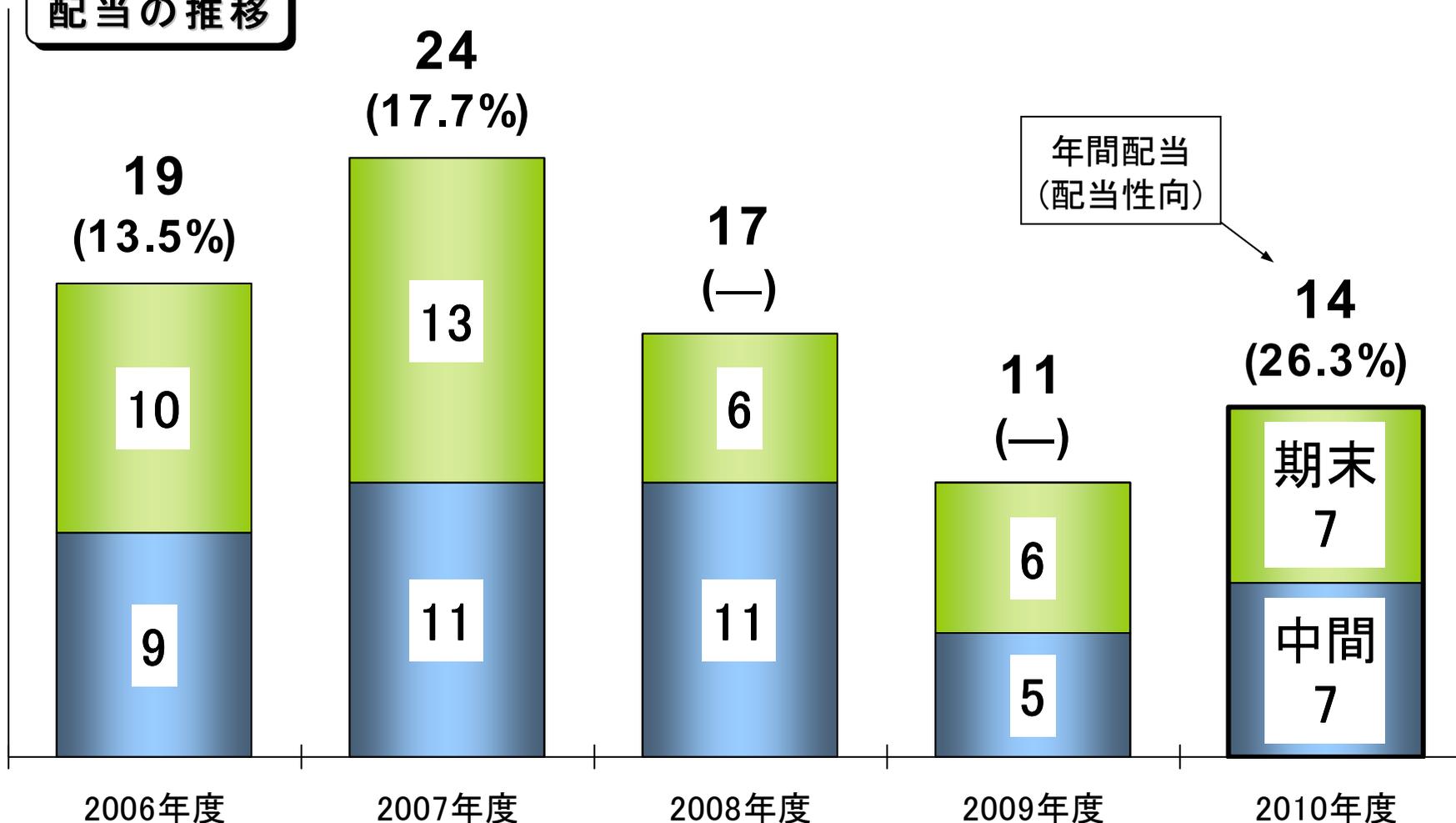
1-9) 株主還元



中間配当: 7円 年間配当(予定): 14円

(円/株)

配当の推移



1. 2010年度 第2四半期業績

2. 2010年度 業績予想

3. グローバル事業戦略

2-1) 財務データ

13

JTEKT
(億円)

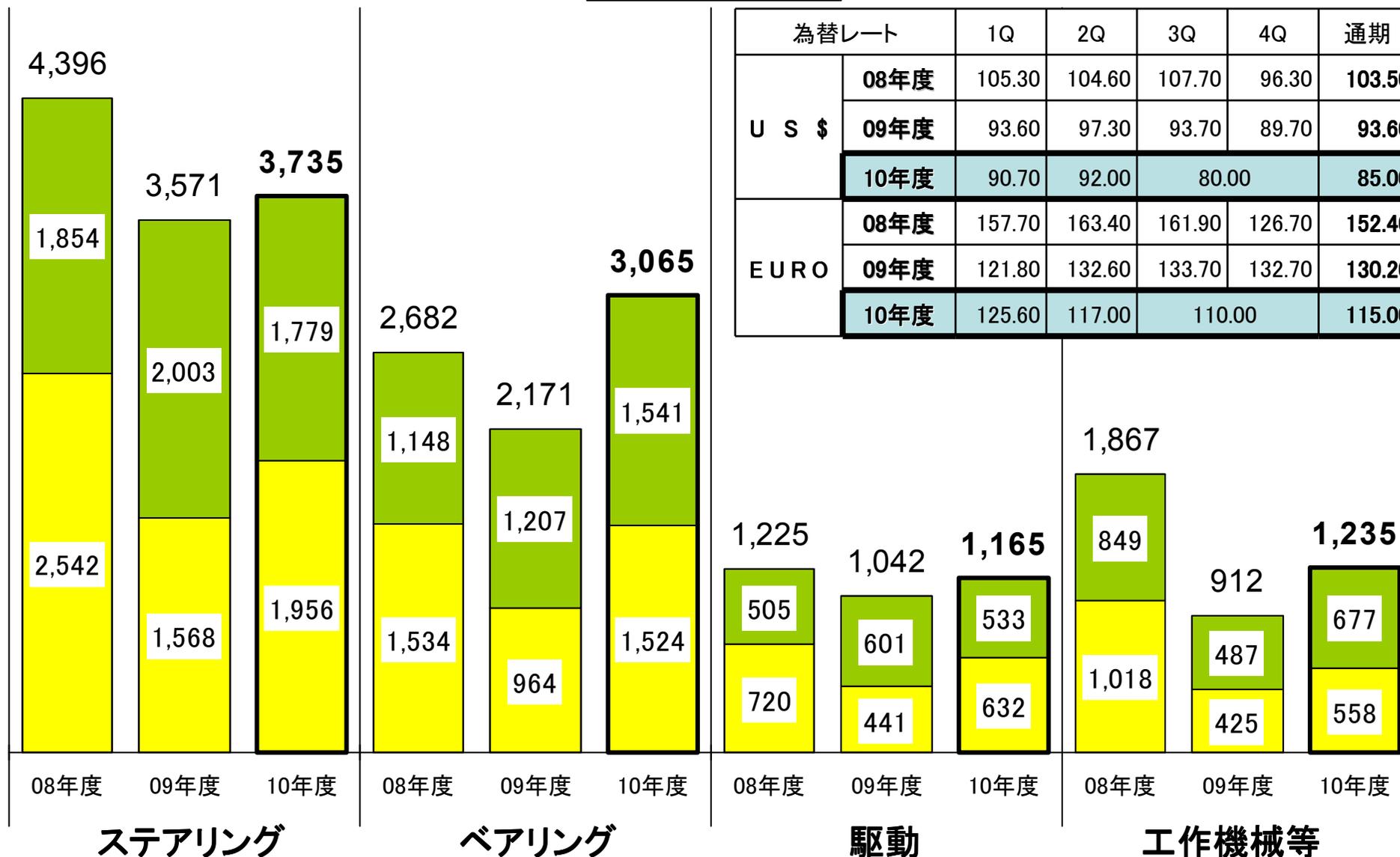
	2009年度	前提為替レート(下期)		2010年度	対前期比
		U S \$	80.00		
		E U R O	110.00		
売上高	7,696			9,200	119.5%
営業利益	4			350	—
経常利益	△ 2			340	—
当期純利益	△ 194			180	—
設備投資額	252			280	110.9%
減価償却費	500			480	96.0%

2-2) 製品別売上高



(億円)

■ 上期 ■ 下期



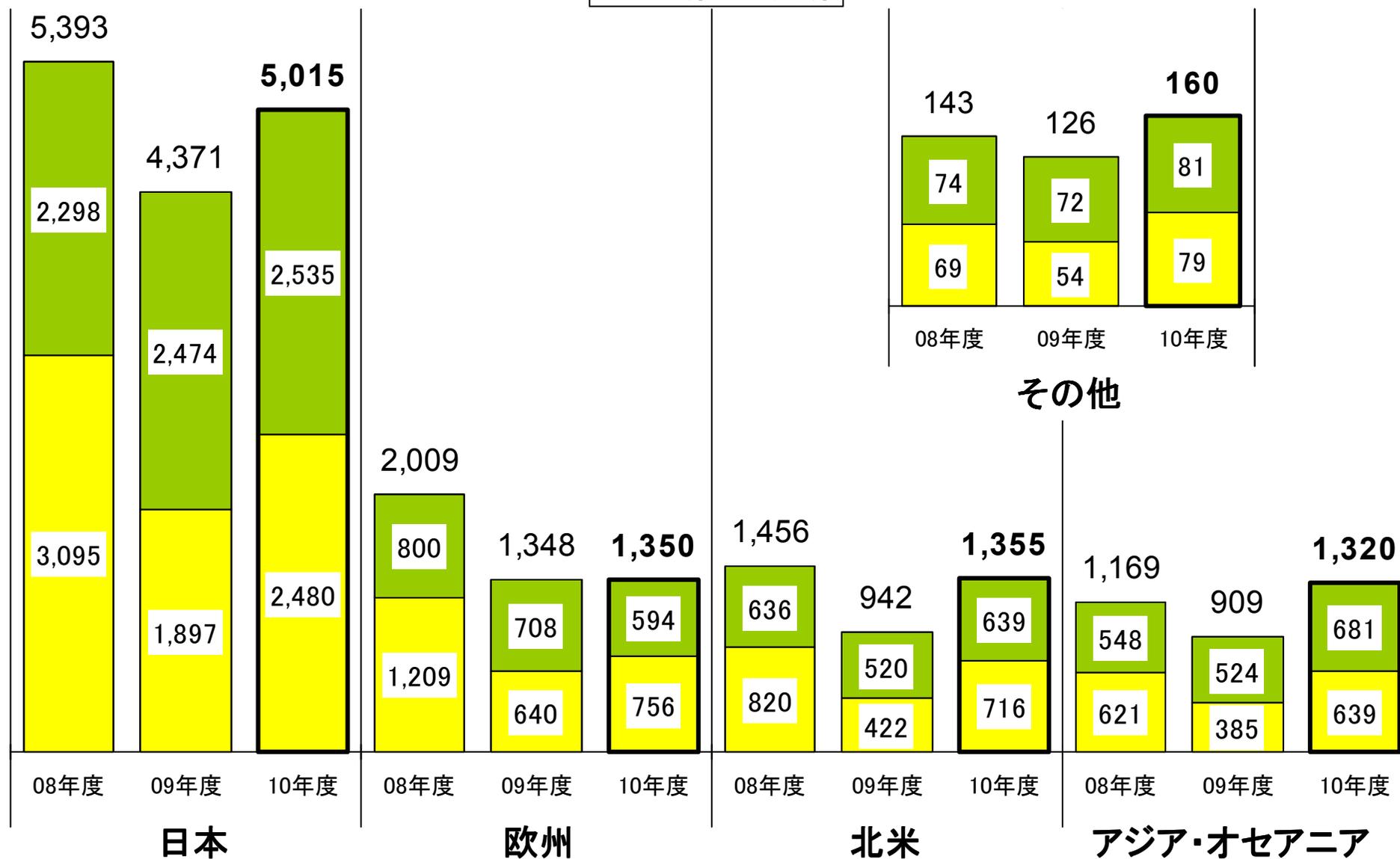
為替レート		1Q	2Q	3Q	4Q	通期
U S \$	08年度	105.30	104.60	107.70	96.30	103.50
	09年度	93.60	97.30	93.70	89.70	93.60
	10年度	90.70	92.00	80.00		85.00
EURO	08年度	157.70	163.40	161.90	126.70	152.40
	09年度	121.80	132.60	133.70	132.70	130.20
	10年度	125.60	117.00	110.00		115.00

2-3) 地域別売上高



(億円)

■ 上期 ■ 下期

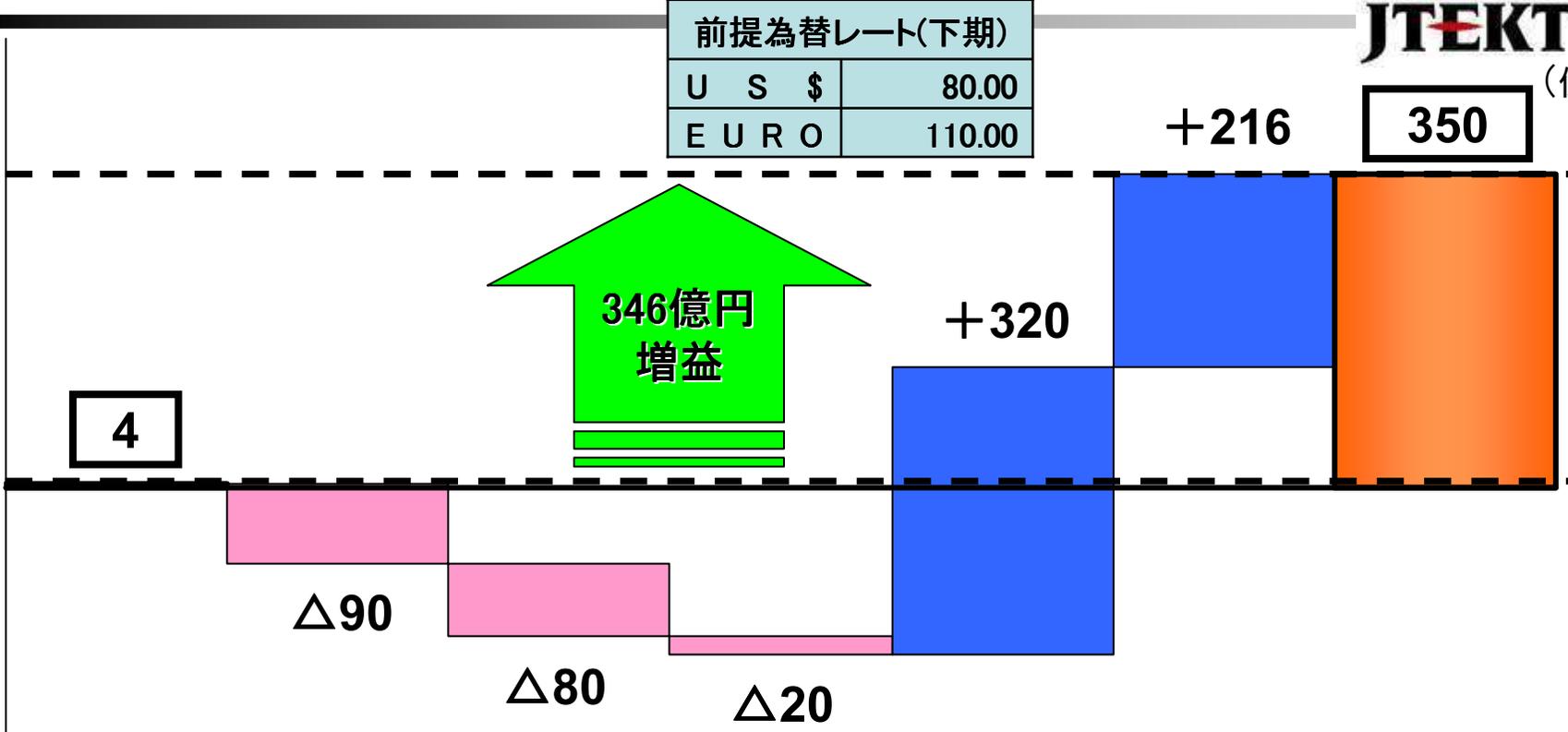


2-4) 営業利益増減分析



(億円)

前提為替レート(下期)	
U S \$	80.00
E U R O	110.00



2009年度

2010年度

為替	売価水準ダウン	原材料価格の変動	売上高増による利益増	原価改善等
----	---------	----------	------------	-------

1. 2010年度 第2四半期業績

2. 2010年度 業績予想

3. グローバル事業戦略

外部環境

◇ “超円高” の継続

◇ 中国を中心とした
新興国の台頭

◇ 環境・エネルギー分野
での経済成長

- ① 自動車のEV化の進展
- ② 脱化石燃料化

グローバル事業戦略

産業機械市場での
事業基盤強化

- ① 大型軸受事業の拡大
- ② 工作機械事業の強化

欧米市場での
事業基盤強化

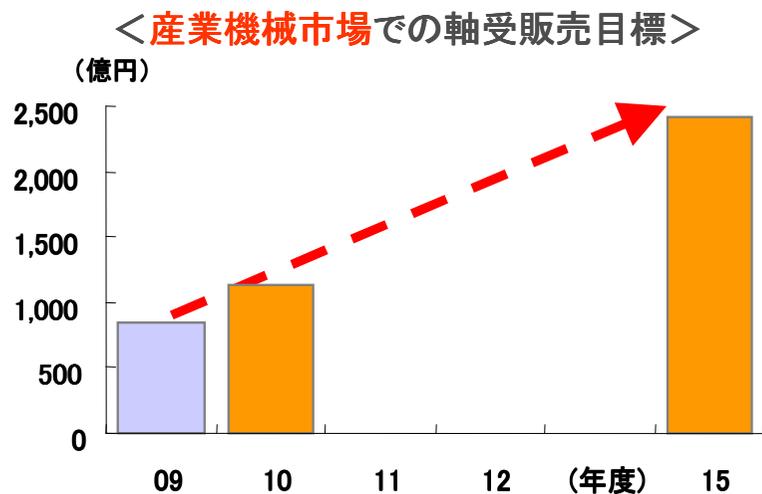
新興国市場での
事業基盤強化

新事業領域での商品開発

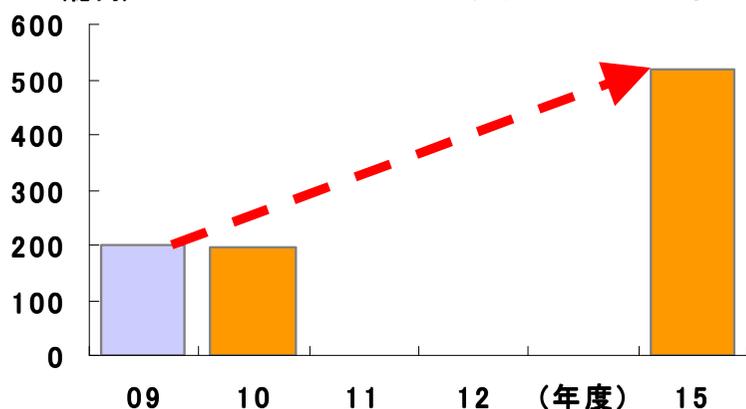
3-2) 大型軸受事業の拡大～産業機械市場の事業基盤強化 19



販売目標



＜鉄鋼、風力発電、建設機械、鉄道車両用
大型軸受の販売目標＞
(億円)



販売・技術体制の強化

収益力を伴った事業構造への変革
～新たなビジネスモデルの構築～

＜重点分野＞

➤ 大型軸受

鉄鋼

風力発電

建設機械

鉄道車両

➤ 高精度軸受

工作機械

航空機

＜販売・技術体制の強化＞

➤ 大型軸受 技術ショールームの
新設による技術プレゼン力の強化

➤ 販売技術部の新設による
顧客対応・商品企画の強化



鉄鋼用



風力発電用

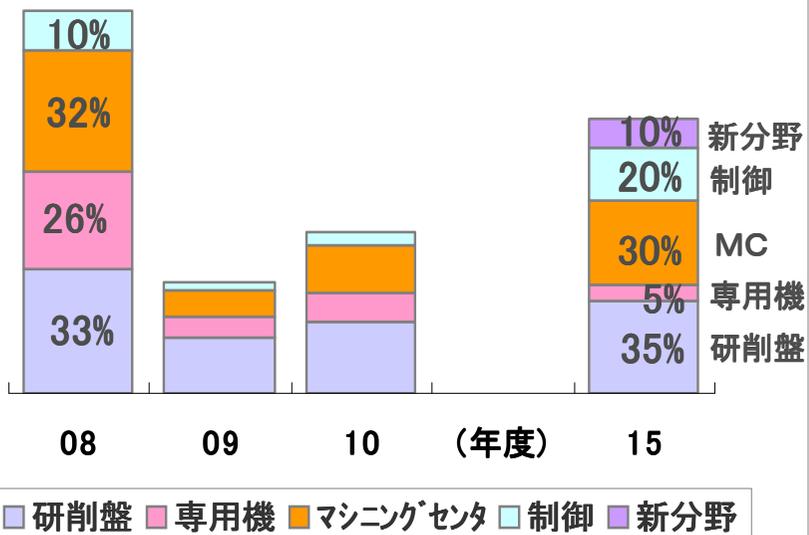


鉄道車両用

3-3) 工作機械事業の強化～産業機械市場の事業基盤強化



販売構成のシフト



収益力の高い製品へのシフト

- 研削盤、制御製品を拡大
- 専用機
 - 付加価値の大きい仕上加工機に集中

特定市場に依存しない事業体質へ

- 専用機依存からの脱却、市場拡大
 - 専用機からマシニングセンタでの提案へ

基盤技術の深化による商品力強化

コンセプト:汎用化“変種量産ライン”

～お客様の部品の低コスト化を実現～

- ◇ 工作物切替のための追加投資をミニマム化
- ◇ ライフサイクルコストを低減

➡ 「eシリーズ」を市場投入

<研削盤>

- CBN研削盤の拡大
- 複合研削盤のラインナップ強化

<マシニングセンタ>

- 操作性・保全性に優れた自社製CNCの搭載
- エンジニアリングソフトウェアの機能強化
- 5軸機、大型機のラインナップ強化

<仕上加工機>

- 汎用性の高い工法開発と標準機開発

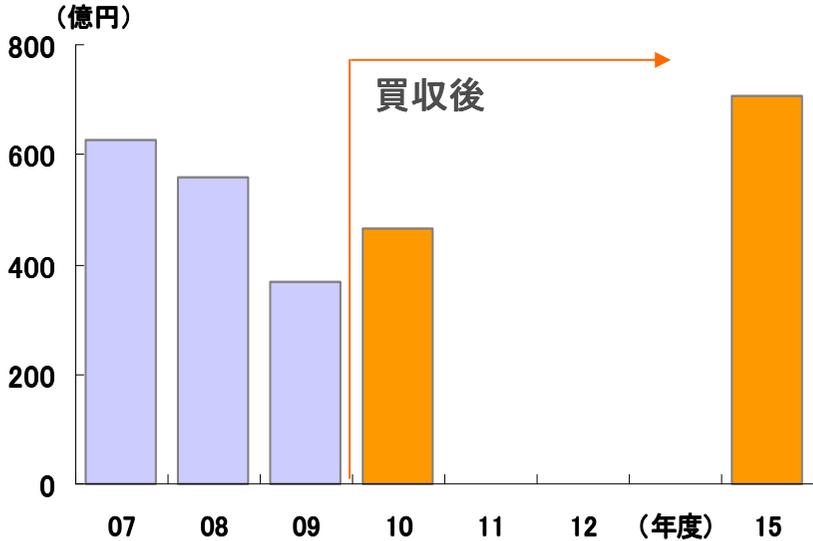
<制御・新分野>

- CNC・小型PLCラインナップ → 市場拡大
- メカトロ要素開発の強化
- HV、EV関連の技術開発(電池、半導体etc)

3-4) ニードル軸受事業の取り組み状況



販売目標



買収以前の状況

<欧米偏重>

- 新興国市場での出遅れ

<高コスト体質>

- コスト競争力低下によるシェアダウン
→ 負のスパイラルに

販売体制の強化

<グローバル販売ネットワークの強化>

- 海外 販売人員を4倍へ増強
- 新興国での販売体制の強化
 - ・中国販売人員の増強
 - ・ジェイテクトグループ販売網の活用

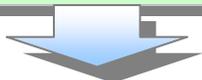
技術・生産体制の強化

<コスト競争力の向上>

- 専門チーム主導のJPS展開による
生産性向上、在庫削減
- 日米欧の最適設計・工法の展開

<新興国での生産体制強化>

- 中国での現地一貫生産体制の確立



世界No.1のニードル軸受事業へ
～グローバルシェア 30%～

3-5) ステアリング事業の強化～欧米市場での事業基盤強化 ²²



～欧米市場における収益力の向上～

内製化による付加価値向上

- 機電一体MCUの内製化・現地生産



コア部品の内製化

- モータ・ECUの一体化(ECU内蔵)
- モータ小型化



- アルミ部品の内製化拡大
- 高出力対応の電動パワーステアリングの市場投入（欧州ではデュアル・ピニオン・EPS）

寄せ止めによる生産性向上

JPS 3本柱の徹底・定着（可動率・直行率向上、やり終い）

STEP 1

現状の生産ラインを増やさずに、生産能力を上げる

STEP 2

工場内寄せ止めの実施

STEP 3

工場間寄せ止めの実施

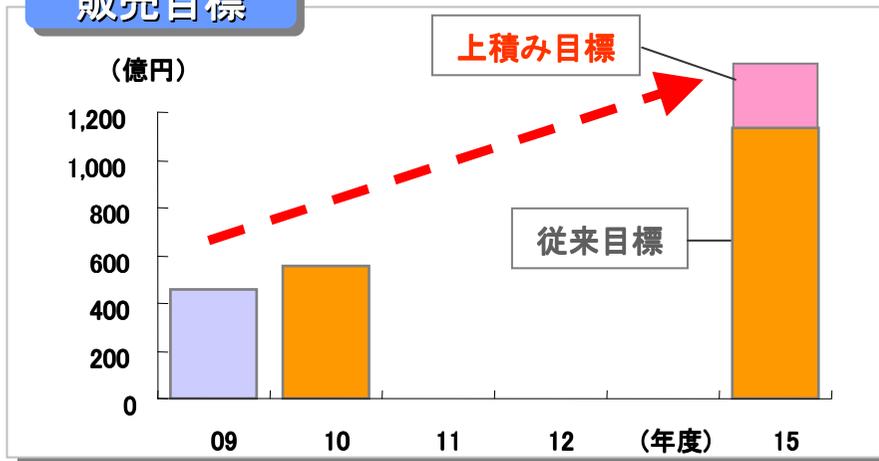
STEP 4

北米・欧州での生産拠点再編（工場閉鎖）

3-6) 新興国市場での事業基盤強化 ①中国事業



販売目標



販売体制の強化

<販売拠点の拡充>

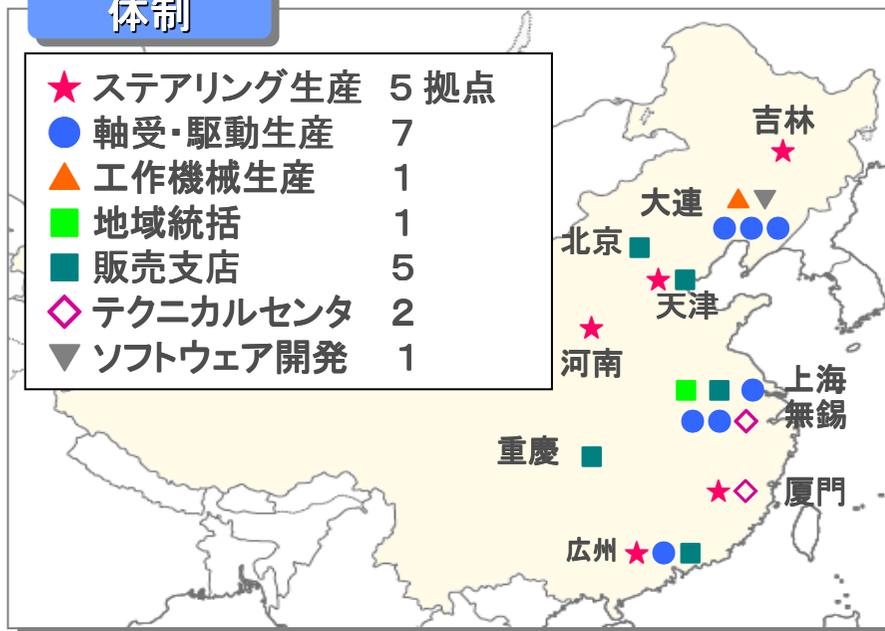
- 既存営業5拠点(上海・天津・北京・広州・重慶)を拡充・・・鄭州・武漢・長春等

<販売代理店網の拡充>

- 現地資本代理店への資本参加
- 関係会社ネットワークの相互活用

現地資本メーカーへの積極的アプローチ

体制



技術・生産体制の強化

<現地化・現調拡大による低コスト化>

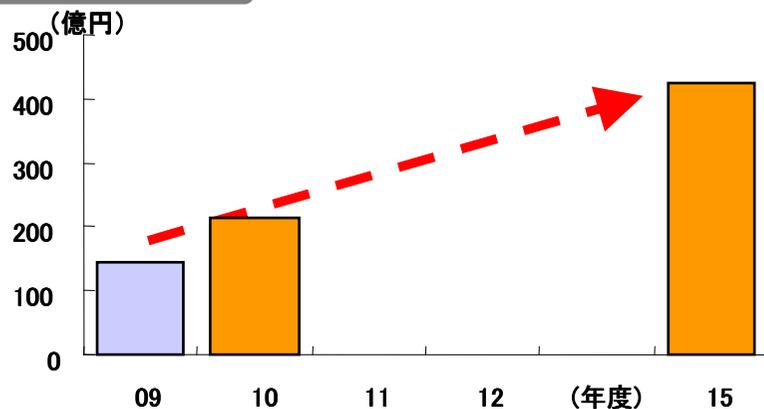
- 現地仕様の確立に向け、テクニカルセンター稼動
- KAW(無錫・自動車軸受)の能力増強
- 瓦房店軸承集団との合併事業拡大
 - ・自動車用軸受の生産・販売拡大
 - ・産業機械(風力発電、鉄道等)分野の協業
- 同濟大学と自動車予防安全に関する共同研究室を開設

部品現調率 15年に100%へ

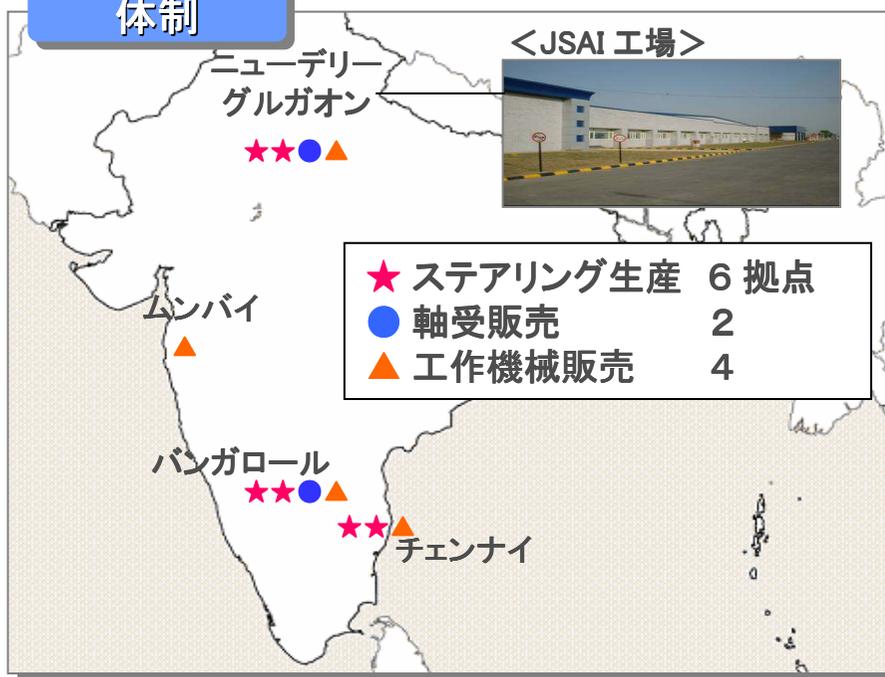
3-6) 新興国市場での事業基盤強化 ②インド事業



販売目標



体制



販売体制の強化(軸受・工作機械)

<南北販売拠点の整備・拡充>

- 北部(グルガオン地区)
 - ・軸受(KBIN)グルガオン支店設立
 - ・工作機械(TMI)同支店へ移転し、販路相互活用(マトリックス活動)
- 南部(チェンナイ・バンガロール地区)
 - ・工作機械(TMI)
 - バンガロールにショールーム設置

<軸受 ルピー建輸入販売を開始>

現地化の強化

<現地化・現調化による低コスト化>

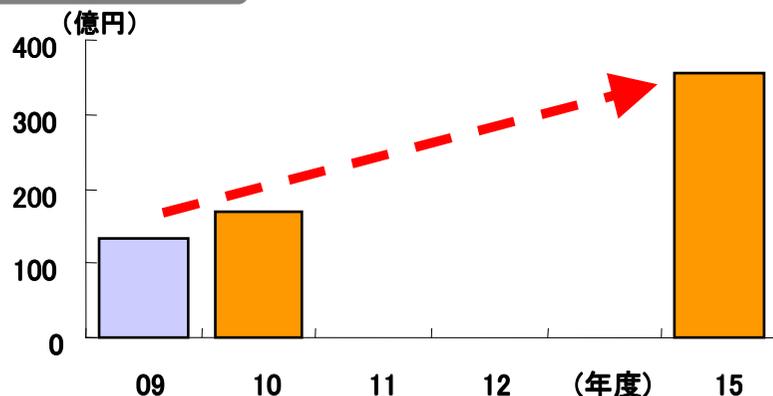
- 電動パワーステアリングの供給体制強化
 - ・JSAI 南北3拠点体制の構築
 - グルガオン本社(10年1月稼動)
 - チェンナイ工場(10年4月)
 - バンガロール工場(10年11月)
- 軸受現地生産の検討着手
- サプライチェーンの構築
 - ・アセアンからの前工程調達の検討

<ターゲットシェア> ステアリング 50%超

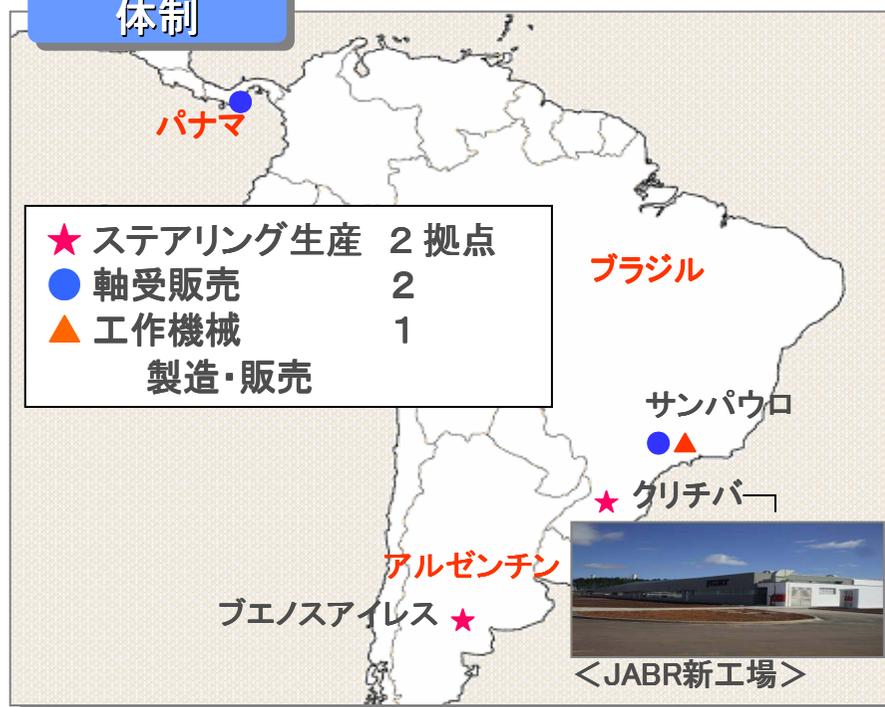
3-6) 新興国市場での事業基盤強化 ③南米事業



販売目標



体制



販売体制の強化 (軸受・工作機械)

<ブラジル>

- 軸受 (KBR) 倉庫拡張による販売強化
～旧JABR工場跡地活用～
- 工作機械 (TKB)
サンパウロにショールーム設置
- KBRとTKBの事務所を統合し、
マトリックス活動を展開

<パナマ>

- 軸受 (KLA) 倉庫拡張、
E-COMMERCEによる拡販

技術・生産体制の強化

<現地化・現調化による低コスト化>

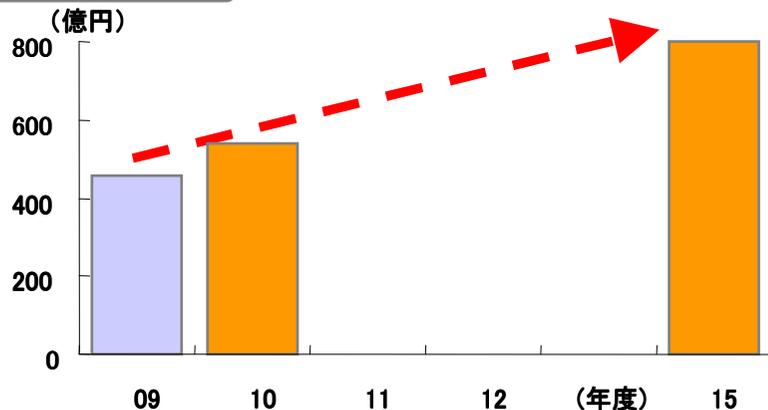
- ブラジル・ステアリング (JABR) の
新工場移転、稼動
→ 電動PS現地生産の布石
油圧PSの内製化拡大
- ステアリング・テクニカルセンター機能強化
(評価設備・解析能力の拡充)
- 軸受現地生産の検討着手

<ターゲットシェア> ステアリング 40%超

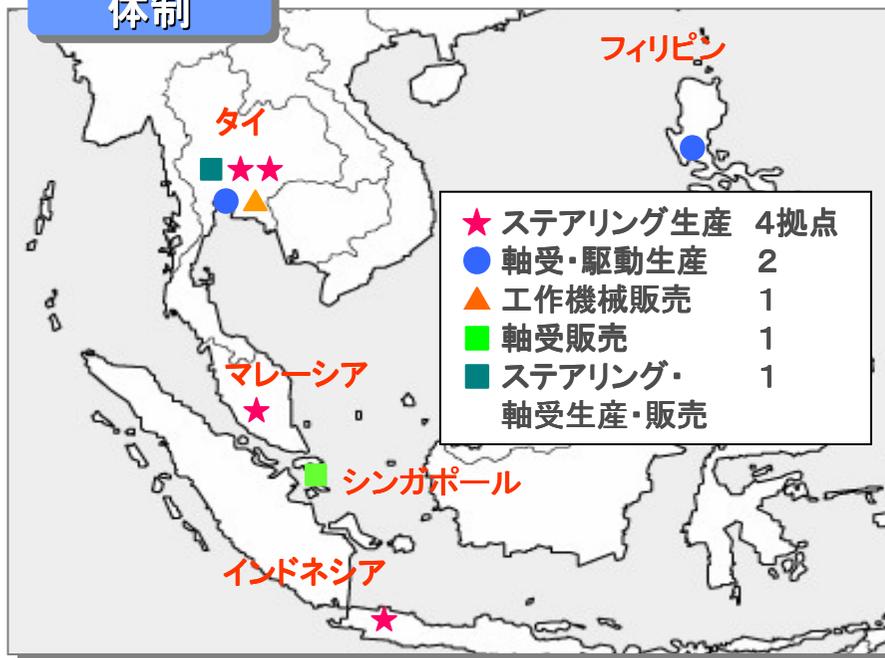
3-6) 新興国市場での事業基盤強化 ④アセアン事業



販売目標



体制



販売体制の強化

<タイ>

- 事業間シナジー効果の創出
→ ステアリング、軸受、工作機械の営業を統合し、マトリックス活動を展開

<ベトナム>

- 軸受販売のベトナム支店を新設

技術・生産体制の強化

<インドネシア>

- 電動パワーステアリング、スタータクラッチの現地生産開始(2011年10月予定)

- 軸受の全工程一貫ライン
現地生産を検討



<アセアンでのターゲットシェア>

- ◇ ステアリング 70%
- ◇ スタータクラッチ 40%